

## 第16回 横須賀市社会福祉審議会 高齢福祉専門分科会議事録

1. 開催日時 令和5年2月2日（木）午後2時00分から午後2時50分まで

2. 開催場所 横須賀市役所 本館3号館3階 301会議室

### 3. 出席者

【委員】西村委員長、荒木委員、伊藤委員、鈴木委員、沼田委員、原委員、星名委員、  
松本委員

（欠席）松尾委員

【事務局】介護保険課 宍戸課長、小西係長、桂係長、国部係長、佐藤係長、竹内主査、  
茂木係長、青井、坂庭

地域福祉課 竹内主査、岩崎主査

福祉施設課 青木課長、関係長

健康増進課 山本課長、川田主査

【傍聴者】1名

### 4. 開会宣言

事務局により、開会が宣言された。続いて、出席委員が定数を充足している旨の確認がなされ、傍聴者数の報告があった。

### 5. 議事

#### （1）介護保険運営状況について

議題（1）について、資料1に基づいて事務局から説明を行った。

委員長：次年度の計画策定に向けて、コロナで受けた影響がどこまで戻ってきているかを見ることが重要だと思う。また、どの程度コロナを考慮したスタート地点にするか検討する必要がある。4・5ページの介護サービス費の費用・サービス量を見ると、予算執行率は3月～9月の7か月分で58%くらいが目安になると思うが、訪問介護は58%を少し超えていて、前年度とそこまで変わっていない。そのため、前年度でコロナ前の動きに戻ってきていて、そのまま推移していると考えられる。通所介護は予算執行率が58%よりかなり低く、コロナ前の動きに戻っていない。コロナの影響は前年度よりも今年度の方が少ないと思うが、前年度よりも下がっている。このことについてどのように分析したらよいか。介護サービス計画は53.9%で当初予算ベースに近づいて

きているように見える。最もコロナの影響があったと思われる通所介護がコロナ前の動きに戻っておらず、むしろ減っているのが不思議である。

事務局：細かい分析はできていないが、訪問介護については引き続きサービスが必要な方については利用されており、通所介護については令和2年度と比べて令和3年度は少し動きが戻ったものの、令和4年度には感染が早く大きい波がきたため、利用控えがあったと推測される。

委員長：通所介護はコロナの影響があり、今年度になっても動きが戻っていないということだと思うが、原委員の見解はいかがか。

原委員：通所介護で利用控えはある。通所介護ではコロナが出ていなくても、施設内の他のサービスでコロナが出た場合、利用を一定期間やめられる方もいる。

委員長：認知症対応型共同生活介護も58%に届いていない。要因はグループホームが増えていないことか、それとも利用希望が減っていることか。

事務局：グループホームの整備については計画で定めており、第8期計画では令和4年度・令和5年度に整備を進める予定である。まだ整備の結果が反映されていないためだと考えている。

原委員：補足だが、施設サービスはクラスターが発生しても、入院がなければコロナの影響は受けにくく、給付費はそこまで変わっていない。

委員長：8ページの総合事業について、訪問型サービスが減っていて通所型サービスが増えている。これはコロナ前の動きに戻ってきているということか。介護給付の動向と違って見えるように見えるが、どのように分析するか。

事務局：通いの場がコロナで閉所されたため利用できなくなり、通所型のショートサービスを受ける方が増えていると聞いたことがある。要支援認定者数自体が増えていることも関係していると考えられる。

委員長：介護予防事業の予防給付を総合事業に移行して、どのように住民参加型サービスを動かしていくかが第9期計画の大きな課題だと思う。予防給付はコロナ前の動きに戻ってきているようにも見えるが、住民参加型サービスがうまく再開されていないため、予防給付に流れているとも考えられるので、動向を注視してもらいたい。

## **(2) 第9期高齢者保健福祉計画の策定スケジュールについて**

議題(2)について、資料2に基づいて事務局から説明を行った。

委員長：第8期計画を策定した時と大体同じスケジュールか。

事務局：そのとおりである。

原委員：2ページの高齢福祉専門分科会での検討項目(1)計画の基本理念は計画書(第8期計画)の中の第1章 計画策定の趣旨ということか。

事務局：第1章から第3章を網羅して記載している。横須賀市の基本計画が新しくなったため、「誰もが自分らしく幸せに生きられるまち」をコンセプトに検討してもらう予定である。

### 3. その他

#### (1) 高齢者向けアンケート調査等の実施について

その他(1)について、資料3に基づいて事務局から説明を行った。

委員長：介護事業所アンケートは第9期計画・事業見込みを立てるのに重要な資料だと思う。回収率が良くないが、前回と比べてどのくらい悪いのか。

事務局：第8期計画策定時には事業所に向けたアンケート1種類を実施し、第7期計画の時には従事者に向けたアンケートを実施していた。今回は施設に向けたアンケート3種類と職員向けのアンケートを実施しているため比べることはできない。

委員長：もう少し回収率を上げたいところだが、1月31日で締め切るのか。

事務局：今のところはその予定である。

事務局から横須賀市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画を含む）の諮問書の写し、付託書の写しを交付した。

以上で議事がすべて終了したことを分科会会長が宣言し、事務局からは次回の開催は5月18日（木）13時30分からを予定していることを伝え、第16回高齢福祉専門分科会は閉会した。

※この議事録は委員等の要点筆記である。